

東京金融賞2025 受賞事業者

【金融イノベーション部門】

■本賞

順位	企業名	実現を目指すサービスの概要
1位	インパクト サークル (日本)	定量的なインパクトデータを必要とする金融機関・機関投資家等に対し、インパクト指標の自動生成等を可能とするツールを提供。社会的インパクトの迅速な可視化により、投資先の評価・選定を支援する
2位	Clarity AI (アメリカ)	機関投資家に対して、投資先に係るサステナビリティの評価、分析、レポート作成等が可能な各国規制対応のAI駆動ツールを提供し、サステナビリティ評価を可視化する
3位	日本資産 運用基盤 (日本)	ETF（上場投資信託）の開発・提供を検討する運用会社が、投資判断や投資運用業務といった高付加価値業務に注力できるよう、ETFの組成・設定・運用管理を包括的に担うホワイトラベル型※サービスを提供する ※基盤となる仕組みを提供し、利用する企業は自社ブランドの商品として投資家に提供できる方式

■審査委員特別賞（アルファベット順）

企業名	実現を目指すサービスの概要
EduCare (日本)	学生の将来年収予測機能等を活用し、経済的負担を抱える学生が、金融機関・企業等から教育ローンや奨学金代理返済サービス等を受けることができる教育ファイナンスプラットフォームを提供する
ヘンリー (日本)	中小病院の資金調達手段として、審査・入金等を迅速に行うファクタリングサービスを提供するとともに、診療報酬明細書（レセプト）の自動電子化等を備えた経営インフラを提供する
マイナウォレット (日本)	マイナンバーカードにステーブルコイン等を利用した決済機能を追加し、新たな決済手段を提供するとともに、事業者・消費者双方にサービス導入支援を提供する

【サステナビリティ部門】

■本賞（アルファベット順）

カテゴリー	企業・団体名	取組の概要
投資・事業	GOYOH (日本)	不動産オーナー向けに、不動産のサステナビリティ価値を可視化・分析・運用実装するシステム「EaSyGo」を提供。社会・経済指標、体験価値、電気・ガス・水道の使用量などを分析することで、社会的インパクトを可視化し、生成AIを活用した改善案の提示も可能
	ジカンテクノ (日本) グリーン ファイナンス 知事特別賞も受賞	化学処理が不要なもみ殻等の代替素材を活用し、環境負荷の小さい方法でシリカやカーボン素材を製造。農業現場との協業により、さらなる脱炭素化を後押しする
	東急不動産 ホールディングス (日本)	ESG債である「広域渋谷圏生物多様性グリーンボンド」を発行し、その調達資金の一部を用いて、同社が都市開発を行う広域渋谷圏において、緑化事業や生物多様性保全事業を実施
人材育成	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 (日本)	職務経験10年以上の社会人を対象に約3か月程度のサステナブルファイナンスに関する講義を提供し、専門的知識を養う。修了後にも勉強会等を開催し、継続的な知識アップデートを促す

■審査委員特別賞

カテゴリー	企業・団体名	取組の概要
人材育成	明治大学商学部 三和裕美子ゼミ (日本)	学生や大学院生を対象に、学部や大学の枠組みを越えて環境問題や社会的課題を研究するネットワークを整備。外部企業との連携等、社会との協力的活動などを通じて社会問題を認識し、専門的知識を習得させる